

特集 / 石田進 神栖市長2期就任インタビュー

広告

企画・制作 建設未来通信社広告部

医療対策と防災事業を継続推進

～魅力ある・誇れるまちづくりの実現へ～

済生会病院増築支援

石田進神栖市長の2期目となる市政がスタートした。1期目の4年間で医療対策や防災対策など市民の命を守る施策を推進した石田市長。2期目も引き続き医療・防災に関する事業を進めながら、観光振興や賑わい創出を図るため神の池や鳥栖神社周辺の再整備にも取り組んでいく。魅力ある・誇れる神栖市を目指してまい進する石田市長に、今後の施策や展望などを聞いた。

■1期目を振り返って

市民の皆さまの命を守るため、医療対策と防災・減災対策に特に力を注いだ4年間だった。まず、茨城県内でも医師の少ない神栖市の医療不足解決に取り組んだ。その結果、救急を担っていた1期目、3病院だけでなく、医師数が17人増加した。市内の診療所も助成金を活用し、6件の誘致に成功した。

また、救急搬送所用時間の短縮も実現した。救急隊と循環器医師を直結するホットラインを設置。救急搬送所用時間はこれまで51.2分かかっていたが、2018、19年は50分を切ることに成功している。

防災・減災対策としては津波・高潮対策を推進するとともに、排水対策として北公共埠頭の雨水幹線整備に取り組んでいる。波崎地域にも排水対策を講じなければいけない箇所が多くあるが、それもこの4年間で随分解消したと考えている。

そのほか、新可燃ごみ処理施設の整備も無事にスタートした。教育施設のエアコン設置やトイレの洋式化などより良い教育環境の充実にも努めた。

■2期目の抱負は

これまでの4年間の市政運営は、市民の皆さまの信任をいただいたと思っている。ここからさらに施策を進めていきたい。医療対策では、神栖済生会病院の増築や白十字総合病院の大規模リニューアルなどを市として支援していく。

防災対策では津波避難シミュレーションの結果から、津波により被災する可能性の高い避難困難地域が3地区あった。本市ではこれらが高台をつくることができなかったが、津波からの避難が困難な地区には、高台の整備を検討したいと考えている。

観光振興や賑わい創出

ため、神栖の名前の由来にもなっている神の池と鳥栖神社の周辺整備を進めていく。

■医療対策について

神栖済生会病院の施設整備がいよいよ始まる。病床数の確保を目指して増築を進める。本年度に基本設計が始まり、来年度に実施設備を進めていく。

■防災・減災対策事業について

波崎地域の排水路整備は、20年に県と協議を行い排水路整備に関する覚書を締結した。その結果、排水は県が、排水路は市が整備するという方針となった。そして、利根川沿いの堤防整備も国に促進していき、今の高さだとちよとした高潮でも乗り上げてしまう。19年の台風19号では多くの建物が浸水した。そのような状況から、国土交通省と茨城県と神栖市で利根川下流域治水対策協議会を設立した。無堤防地域解消のため国交省への要望・陳情活動を今後も続けていく。



◆プロフィール◆

石田進 (いしだすすむ) 1958年(昭和33年)9月2日生まれ。63歳、東海大学政治経済学部卒。波崎町議会議員、神栖市議会議員、県議会議員を経て2017年12月から現職。趣味は映画鑑賞。座右の銘は「一生懸命」。



神栖済生会病院

高台の整備については地元の皆さまと協議をしていく段階。避難困難地域となった3地区において新たな津波避難ビルの指定や、避難の方向の変更なども避難困難者が解消できない地区については、2期目の早い時期に高台の整備を進めていく。

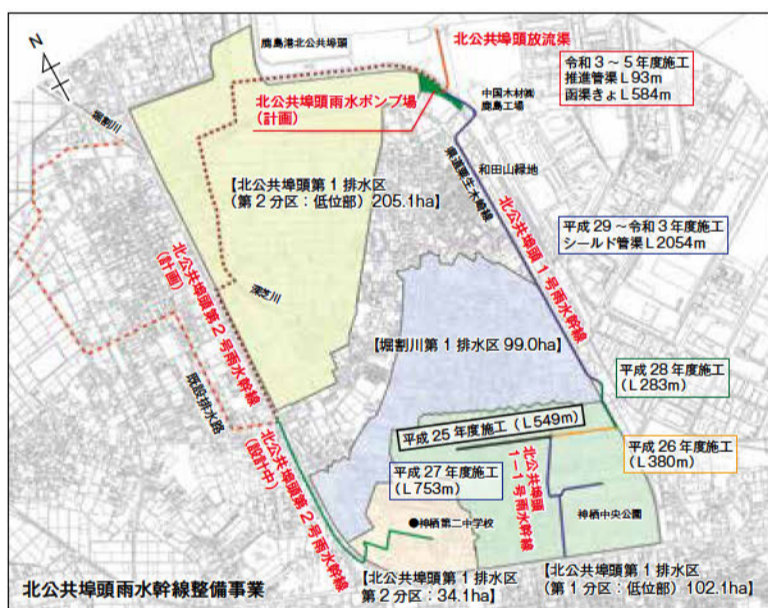
■魅力あるまちづくり

東国三社のひとつである鳥栖神社は、近年参拝客も増えているが駐車場が少ないなどの課題があった。そこで、鳥栖地区の住民の皆さまの意見も聞きながら再整備を進め、魅力向上を図っている。昨年12月25日には鳥栖の森駐車場の供用を開始した。

2期目には参道や周辺の賑わいづくりを実施する。鳥栖神社は鹿島神宮や取神宮に比べてまだ知名度が低いとその分伸びしろがあり、ほかにはない魅力もあふれている。貴重な地域資源を存分に活用したい。

同時に神の池緑地の再整備も進める。桜の名所であり市民の憩いの場所だが、老木も増えているので調査を行い樹勢の改善を図りたい。また、ランニングする方も多いためランニングステーションの整備も検討する。そしてスポーツの拠点となるような施設の整備を検討していく。特に茨城県体が会場となったカーヌー競技の拠点となるようにしたい。

この2カ所は神栖の名前の由来となっており場所なので、魅力向上に向けてメスを投入していく。



北公共埠頭雨水幹線整備事業

道路については中心市街地付近の国道が6車線化したことで、渋滞は大きく緩和された。今後も、渋滞が発生している県道の整備促進を進めていく。

■入札や表彰制度の考え方は

入札制度は、地元建設業界の皆さまの要望や意見を聴きながら、受注希望者が公平に入札に参加できるように改革を進めてきた。建設業は市民の安心安全を支える重要な仕事であると考えているので、偏ることなく公平に受注できるように体制づくりに努めている。表彰制度の創設も、前向きに検討したい。

■建設業界へのメッセージ

市と建設業界は密接に連携していかなくては行けない。災害時に頼りになるのは地元の建設業の皆さまであって、日ごろから信頼関係を構築することが何よりも大切であると考えている。

強固な信頼関係を築くには、建設業界の皆さまに適正価格で仕事を受注していただく、正当な利潤を得ていただくことが不可欠だと考えている。利益が上がり、疲弊した状況で非常時に助けを求めたいというは無理な話。そのことでは、市民の皆さまにもしっかり理解していただく必要がある。

普段使った道路がきれいなのは当たり前であると感じている方もいると思うが、一生懸命に手入れをしてきたことが、一生懸命に手入れができてきたということを忘れてはいけない。

地元建設業界との信頼関係を一層強固なものにできるように、市としても努力してまいります。

社会資本整備を通して 安全で豊かな市民生活を守ります

神栖市総合建設業協会

〒314-0344 神栖市土合東1-13-23 TEL 0479-26-3511

会長 石津 正美

副会長 細田 誠一

副会長 重田 弘明

- | | | | | | |
|------------|------------|----------|-----------|----------|----------|
| 安藤建設(株) | 大和土木(株) | 有共神管工設備 | (株) 菅谷建設 | 成東建設(株) | 森新建設(株) |
| 岩瀬設備工業(株) | 小川建設(株) | 神栖和南建建設 | 鈴縫工業(株) | 東波崎建設(株) | 山中造園(株) |
| (株) 姥貝組 | 鹿島花壇土木(株) | 共港幸武建建設 | タイヨ一工業(株) | (株) 長谷川土 | 豊造園(株) |
| (株) 工産バンド | (株) 鹿島環境サー | 幸武建建設 | 大勝建設(株) | 原山工業(株) | 臨海緑化建 |
| 大賀志造園土木 | (株) 鹿島企建業 | 越若小若藤建建設 | 高大地神栖支 | 木山工業(株) | (株) 和鹿園建 |
| (株) 大塚造園建設 | (株) 鹿島信販機工 | 藤建建設 | 竹橋建設(株) | 木山工業(株) | |
| 大野谷浜産業(株) | 株木建設(株) | 藤野建設 | 中建設(株) | 木山工業(株) | |
| 大根造園土木 | 株木建設(株) | 藤野建設 | 竹橋建設(株) | 木山工業(株) | |
| 大和田工業 | 株木建設(株) | 藤野建設 | 竹橋建設(株) | 木山工業(株) | |